

News Release

2016年5月11日

報道資料

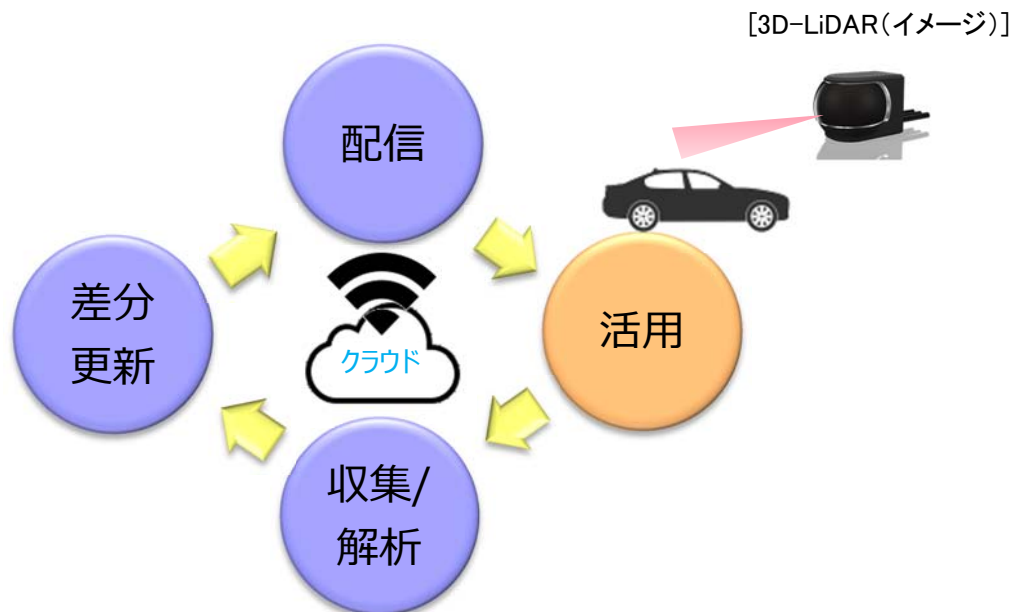
HERE と「3D-LiDAR」を活用した“データエコシステム”構築に向けた実証実験に合意
～自動運转向け地図を効率的に更新・運用するシステムの実用化を目指し、
自車位置推定の実証実験から開始～

パイオニアと位置情報クラウド企業の HERE は、当社が開発を進めている走行空間センサー「3D-LiDAR (ライダー)」と HERE の自動運转向け高精度地図を活用して、自動運转向け地図を効率的に更新・運用する“データエコシステム”の構築に向けた実証実験を行うことに合意しました。両社は、昨年9月7日発表の通り、来る自動運転時代に向けて、両社の保有する技術の活用について協議を進めてきました。“データエコシステム”の構築には、自動運转向け地図の更新データを抽出するための高精度な自車位置推定が求められます。本合意により、当社の「3D-LiDAR」と HERE の自動運转向け高精度地図を組み合わせ、自車位置推定の実証実験から開始し、自動運转向けの地図を効率的に更新・運用する“データエコシステム”の実用化を目指します。

【“データエコシステム”構築に向けた両社の役割】

自動運转向け地図を効率的に更新・運用する“データエコシステム”の実用化に向け実証実験を行う。

- ・パイオニアが開発している走行空間センサー「3D-LiDAR」と、高精度な自車位置特定技術を活用し、自動運转向け地図の更新に必要なデータを抽出
- ・HERE が保有する自動運转向け高精度地図とクラウドを活用し、上記で抽出されたデータ(センサーデータなど)を収集/解析、それを元にした更新地図データを車両へ配信する仕組みを検討



【“データエコシステム”運用イメージ】

【自動運転・高度運転支援に関するパイオニアの取り組み】

当社は、これまで培ってきた光ディスク関連技術を活かし、車載用途に適した高性能で小型・低コストな「3D-LiDAR」の開発を進めています。また、カーナビゲーションで培った技術に加え、2006年にプローブ情報を活用した独自のネットワークシステム『スマートループ』を立ち上げており、一般車両からの周辺情報を自動的に収集し、高度化地図データを更新して配信する効率的な整備・運用システム(データエコシステム)の構築・提案を目指しています。

【HERE について】

HERE は、様々な機器およびオペレーティングシステムに対して、世界最高クラスの地図と位置情報エクスペリエンスを提供しています。HERE は、高精度(HD)地図を開発しており、クラウド・サービスと連携した車載システム、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル機器などの幅広いコネクテッド・デバイス向けのリアルタイムな位置情報エクスペリエンスを実現します。HERE の詳細については <http://360.here.com> をご覧ください。